

公益社団法人日本地震工学会 第35回理事会議事録

A. 日時：2018年8月7日（火） 16時00分～19時00分

B. 場所：建築会館 308会議室

C. 出席者：（会長）福和伸夫，（副会長）鳥井信吾，塩原 等

（担当理事）佐藤吉之，中村洋光，山本雅史，入江さやか，久保智弘，田村修次，
末富岩雄，高橋章浩，宮腰淳一

（監事） 當麻純一

（強震動評価のための深部地盤モデル化手法の検証に関わる研究委員会） 東 貞成

欠席：（副会長）清野純史，（担当理事）岩本浩祐，平田京子，五十嵐晃，目黒公郎，
中尾吉宏，（監事）飯場正紀

オブザーバ出席：小松康典事務局長，戸田薫子事務局員

D. 議題および提出資料：

議題

報告事項

- | | |
|---------------------------------|----------|
| 1) 第34回理事会議事録（案）確認（中村理事） | 資料 35-01 |
| 2) 会務報告（佐藤理事） | 資料 35-02 |
| 3) 会計報告（山本理事） | 資料 35-03 |
| 4) 広報部会からの報告（入江理事） | 資料 35-04 |
| 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（久保理事） | 資料 35-05 |
| 6) 会誌編集委員会からの報告（入江理事代理報告） | 資料 35-06 |
| 7) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（田村理事） | 資料 35-07 |
| 8) 論文集編集委員会からの報告（末富理事） | 資料 35-08 |
| 9) 事業企画委員会（JEES）からの報告（高橋理事） | 資料 35-09 |
| 10) 事業企画委員会（企画）からの報告（宮腰理事） | 資料 35-10 |
| 11) 17WCEE 運営委員会からの報告（佐藤理事代理報告） | 資料 35-11 |
| 12) 2019年度大会に関する報告（佐藤理事代理報告） | 資料なし |
| 13) 選挙管理委員会からの報告（山本理事） | 資料 35-12 |

議案

- | | |
|--------------------------------------|----------|
| 第1号 入退会者（中村理事） | 資料 35-13 |
| 第2号 委員会委員の委嘱（佐藤理事） | 資料 35-14 |
| 第3号 共催・後援・協賛等（中村理事） | 資料 35-15 |
| 第4号 スペシャルアドバイザー制度の見直しについて（佐藤理事、中村理事） | 資料 35-16 |
| 第5号 防災学術連携体のデータベースへの協力依頼について（山本理事） | 資料 35-17 |

懇談事項

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1) 研究委員会における成果の公表について（佐藤理事） | 資料 35-18 |
|-----------------------------|----------|

E.議事録：

報告事項

- 1) 第 34 回理事会議事録（案）確認（中村理事）
 - ・ 中村理事より資料 35-01 に基づいて第 34 回理事会議事録（案）の説明が行われ、異議なく承認された。
- 2) 会務報告（佐藤理事）
 - ・ 佐藤理事より資料 35-02 に基づいて会務報告の説明がなされ、異議なく承認された。
- 3) 会計報告（岩本理事）
 - ・ 岩本理事より資料 35-03 に基づいて会計報告の説明がなされ、異議なく承認された。
- 4) 広報部会からの報告（入江理事）
 - ・ 入江理事より資料 35-04 に基づいて広報部会の活動について説明がなされた。
- 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（久保理事）
 - ・ 久保理事より資料 35-05 に基づいて JAEE News の巻頭言の執筆順等について説明がなされた。
- 6) 会誌編集委員会からの報告（入江理事代理報告）
 - ・ 入江理事より資料 34-06 に基づいて会誌 No.35 の内容の説明、会誌 No.36 の編集スケジュールについて説明が行われた。
 - ・ No.38 の企画案（来年 10 月刊行予定）として、大阪府北部の地震、南海トラフの地震、第 1 期 SIP が挙げられた。
- 7) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（田村理事）
 - ・ 田村理事より資料 35-07 に基づいて説明がなされ、2018 年 10 月 13 日に開かれるシンポジウム「あなたが知りたい防災科学の最前線—首都直下に備える」には、日本地震工学会は参加応募することし、講演者として工学院大学の久田嘉章教授が内定したこと、IAEE 事務局支援委員会、国際委員会の委員として鉄道総研の津野靖士氏を追加したことが報告された。
- 8) 論文集編集委員会からの報告（末富理事）
 - ・ 末富理事より資料 35-08 に基づいて 8 月号の掲載論文数の見込について説明がなされた。シンポジウムの特集号では論文数が通常の倍程度になるため、査読者 2 人とし、意見が分かれた場合に 3 人目として編集委員が審査する方式とすることが報告された。
 - ・ 論文編集委員会でシステム改良の効果を見て、論文編集委員会からの予算支出する方針を進めることで承認された。
 - ・ 疑義のある論文の取扱については現在共著者に調査対象が広げられており、調査には時間がかかる可能性がある。
- 9) 事業企画委員会（JEES）からの報告（高橋理事）
 - ・ 高橋理事より資料 35-09 に基づいて第 15 回日本地震工学シンポジウムの各部会の準備状況について報告がなされた。技術展示数がまだ少ないため、関係者に声がけする等の必要があるとの報告がなされた。
- 10) 事業企画委員会（企画）からの報告（宮腰理事）
 - ・ 宮腰理事より資料 35-10 に基づいて各分野の横断的なシンポジウムの企画（案）として、「（仮題）複合した都市システムにおける地震荷重の設定と耐震性能評価」について説明がなされた。
 - ・ 地震荷重とシステムのどちらをターゲットにするか方針をはっきりさせた方がよい、どの分野をターゲットにするのか、タイトルを含めてもう少しキャッチーなものを検討するのがよい、という意見があった。
- 11) 17WCEE 運営委員会からの報告（佐藤理事代理報告）
 - ・ 佐藤理事より資料 35-11 に基づいて 17WCEE に向けた準備状況について説明があり、第 15 回日

本地震工学シンポジウムにおいて 17WCEE の紹介ブースを設置し、出展料は徴収しない取扱とすることが了承された。

12) 2019 年度大会に関する報告（佐藤理事代理報告）

- ・ 佐藤理事より 2019 年度大会の準備状況について順調に進んでいる旨報告があり、次のステップへの課題として、JAEE 大会委員の人選を検討する（当面は企画立案が目的）、懇親会の日時設定や場所の立案、地震学会との合同セッションの企画の方向性を地震学会側委員と協議することが、挙げられた。

13) 選挙管理委員会からの報告（山本理事）

- ・ 山本理事より資料 35-12 に基づいて、2018 年役員選挙について、これまでの経緯と今後のスケジュールについて報告がなされた。

議 案

第 1 号 入退会者（中村理事）

- ・ 中村理事より資料 35-13 に基づいて入退会者の報告がなされた。入会者として正会員 3 名、学生会員 1 名について異議なく議決された。また退会者として学生会員 1 名について異議なく議決された。

第 2 号 委員会委員の委嘱（佐藤理事、東貞成氏）

- ・ 佐藤理事より資料 35-14 に基づき委員会委員の委嘱の説明がなされ、異議なく議決された。また、外部委員会等として、東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会は解消されたことが報告された。
- ・ 東貞成氏より第 6 回 ESG 国際シンポジウム(2021)における ESG6 Organizing Committee の説明がなされた。AUDITOR に植竹氏がなっていることから MEMBERS からは外すこと、17WCEE と同様に邦文の文書を用意することで議決された。なお、今後委嘱の手続きが必要となる。

第 3 号 共催・後援・協賛等（中村理事）

- ・ 中村理事より資料 35-15 に基づいて共催 2 件、後援 3 件、協賛 1 件の名義使用依頼が報告され、異議なく議決された。

第 4 号 スペシャルアドバイザー制度の見直しについて（佐藤理事、中村理事）

- ・ 佐藤理事より資料 35-16 に基づいてスペシャルアドバイザー制度の見直しについて説明がなされた。
- ・ スペシャルアドバイザーは最終的に理事会で決定することとする。
- ・ 派遣業とならないか確認が必要との意見があった。
- ・ 資料の中に、社会還元の一環であることが分かるようにした方がよい、講演テーマの例を記載した方がよい、話題が提供できそうな内容の中に「その他」「BCP」「液状化」「災害情報」を追記する方がよい、対象を段階的にした方がよいのではないかと意見があった。
- ・ 既に登録済みの先生が再度登録する手間を取らせないようとの意見があった。
- ・ 以上の方針等を踏まえ、次回理事会での審議の後、会員に案内することとする。

第 5 号 防災学術連携体のデータベースへの協力依頼について（山本理事）

- ・ 山本理事より資料 35-17 に基づき防災学術連携体からの協力の依頼について説明がなされ、協力

することが議決され、研究統括委員会が各研究委員会の名称、目的、キーワード等を集約することが議決された。

懇談事項

1) 研究委員会における成果の公表について（佐藤理事）

- ・ 佐藤理事より資料 35・18 に基づいて研究委員会の成果の公表について説明がなされた。
- ・ 研究委員会運営規程の運用細則に「研究成果報告書の作成および報告会（または講習会・シンポジウム）の開催は必須とし」と記載があり、報告会のやり方は様々であるが、この細則に則った運用を行う必要がある。
- ・ 津波避難という生命の安全に直接係る内容を含むと思われるため、成果の活用のされ方次第では学会の責任を問われる可能性もあることから、委員会関連規定に従って発信予定内容を確認する必要があるとの監事意見があった。

次回予定：第 36 回理事会 平成 30 年 10 月 23 日（火）16 時～19 時

以上 この議事録が正確であることを証します。

平成 30 年 8 月 7 日

議長 福和 伸夫

監事 當麻 純一